



皇清外傳

二編

^ 13
2891
7



伊の痛ぬまよ由目由ありて物含ても甘くも只涙よのどかたうらみ
まよつとけりあそ人丸の奴家か嘆けり結ともみ涙よりさく父上へ何れ
まよはまをぞ久しく久々の後ば老衰をさぐる侍み奴家みおて父上の
侍も久方又侍ひ多ひ達さうとたべと使こゆらよいと哀しくさ刃又迫り
做業由せむ伏し居まが兄上と父多き小練めする由を人の辱ま
さよひ奴鬼み。陽又憂む多かまよと心裡ハ露やと色もひ終る
隙ハ。二年と来一日由泣ぬ日とさるうらみ今疾不國とのあふ
還舎しを嬉しけとと高みとさるうらみと泣人丸もさるふ五纏父上今
まよひ何あよおほし母人や奴家もさるうらみおほし母上のあひ屋
のひ痛と中うの病もさるうらみ飯ぶつやまじめさ終る。さるふもさるふ悲しく
て。登え疾も痛まよとさるうらみとさるうらみ祖母君や阿父君のまよと結め懸

ゆあとも父上をさるうらみさるうらみさるうらみ止むや母上さるうらみ
おほし母上のあひ屋のひ痛と中うの病もさるうらみ飯ぶつやまじめさ終る。さるふもさるふ悲しく
て。登え疾も痛まよとさるうらみとさるうらみ祖母君や阿父君のまよと結め懸
ゆあとも父上をさるうらみさるうらみさるうらみ止むや母上さるうらみ
おほし母上のあひ屋のひ痛と中うの病もさるうらみ飯ぶつやまじめさ終る。さるふもさるふ悲しく
て。登え疾も痛まよとさるうらみとさるうらみ祖母君や阿父君のまよと結め懸
ゆあとも父上をさるうらみさるうらみさるうらみ止むや母上さるうらみ
おほし母上のあひ屋のひ痛と中うの病もさるうらみ飯ぶつやまじめさ終る。さるふもさるふ悲しく
て。登え疾も痛まよとさるうらみとさるうらみ祖母君や阿父君のまよと結め懸
ゆあとも父上をさるうらみさるうらみさるうらみ止むや母上さるうらみ
おほし母上のあひ屋のひ痛と中うの病もさるうらみ飯ぶつやまじめさ終る。さるふもさるふ悲しく
て。登え疾も痛まよとさるうらみとさるうらみ祖母君や阿父君のまよと結め懸

公を中とせしもの運めごと大將又對し我の微運なる平家の侍
 単月の争で宿志を果せむと忽ち首級削らましく獄門の樹みかけら
 んば私奴曝へ必死入るととせしもの主の爲せよ武士の才ぞ難死是
 木のうを明らめく今の言後を忘るるもひそとほめて不意今疾世
 不よ未つる工と不審するのまうその縁故を結里終と回へ阿古
 屋へ回意する泣流とてぞ居たりけり母の五十奈ハ星をん後とと
 出てまへりけりあ人牙小別とまいつくくその後の中ハ今女児が使
 へまのうまどくめく親子のうハささみゆのりぞ十三のどの由世老姫由
 此方のうへ瓜束の写も忘る回る折うは十三うへ我を養ふた免
 小日毎この矢洲川は代来辛苦瓜厭つて出るも今日も早朝又家出て
 疾よ入ぬと還り来まると女児や孫ハ約りびる門もさく立出くよ

深編はまを面を蔽も一人の侍はと事り代業する十三ハ世来あて左つる
 と尋らゆ小爾ありと回意へ侍らつ悲外方又對し扇奴揚げさ招く小
 志さかひく二張の轡子をさし荷ひく余教多く我二人を彼轡子よあ
 入ましく何方ともろく卑出まふこの何とわろりぞと嘆けは侍らち
 笑ひ我汝亦は仇ハせど目今十三は違ぬべし其時世色を与へた昔
 矢洲川小惠瓜うけをまが報小那の志奴做のまあり世后互又恩あま
 君令小のうましく對面せらうまへく未練あえうとととととととと
 世不又誘引去小きと誓う瓜使めて十三ハ与へ一色ハ奈何るりものごと
 とらまあげくこをん小黄金百兩を封じしり上は字も奴読てま
 去年ハ矢洲川小人の惠瓜稟今年ハ殘念ハ君恩瓜養る漂母小恩と報
 ける古人又做くと世瓜贈ると世字する小ぞ十三ハ愕然し言後たかく

大洲川の
漂客
昔日の恩
報



十九

何二卷



五十一卷

五

報人今母の對面と且隈五十奈内茶南思ひねさるべとどなるを
 の今暫く我夫や父上のこととね纏る妻と女児をうひ除まば五十奈十
 三左右と立ちかりつ止る氣拂ひは除まつさる折る。降雨不降雨定
 めるき秋のさるひのさるせや。ささると出ま村雨よさやけ九月の忽よ
 暗よ終よと系清ハ何方ともさく立去とふまよ世不よと人とも
 累傳か殺氣慕ひまると。茲は源二位源頼朝公ハ平家を西海よ亡一
 多ひ。天を共よ戴うさる惟氣報ひと。年頃の宿志を果くめひは且と
 尚そ子孫の廣うりけ且氣後の患を除んとく。北条時政畠山忠權
 原景季の三人よ命く。京中或ハ五畿内よ思ひ居らん平家の余數と
 尋出しく誅さまそく。二臣を上洛るさう。あか入んハ命氣稟て京六波羅
 小居を卜て平家の余數の思ひ居る氣尋ねく。し出るのめあ。勸業強

小よる。一。解ホーける程小辺比よ。平家方よ縁を常め立入。て。徳乃
 せ。半由六波羅よりの解氣也。忽ちこま傾きとく。我勸業は執人と世
 不よるも彼不より。平家の公達或ハ又そ赤黨の子佐木を搜索
 出しく誅ける。人のむぞ方んそ。勢とさる。わど小日あ。さむして召捕め
 丁そまよる。死いと幼るを。水よ。濃め。少く成人。さハ刺殺し。或ち
 首氣削るもあ。母の悲。乳母の歎。又類へる。哀る。北条畠山
 の二人ハ世光景氣。思ひ。我方の人よ。つま。さ。情。あ。と。は。と。若
 命る。と。梶原が。云。の。小。位。ま。さ。る。と。思。ね。飛。氣。他。に。け。る。近。江。の。四。山。を
 平家の余類世不。彼不。思ひ。居る。よ。折。つ。め。の。あり。く。畠山が。赤。黨。本
 田二部梶原が。部。黨。る。場。忠。太。ホ。は。者。を。氣。捕。へ。と。二人。存。一。く。近。江。に。赴。き
 幾許の人を捕へける。そ。と。中。よ。る。場。忠。太。ハ。系。傳。が。女。見。人。丸。を。捕。へ。六。波。羅。

不幸未幾。景季。こころ。大抵。義兵。が。入。獲。命。の。豫。と。お。び。し。は。
 あ。ま。り。引。は。命。會。を。は。し。去。向。を。捜。索。し。知。る。よ。う。く。甲。お。る。た。と。小。
 乙。ひ。今。世。女。兒。を。捕。獲。し。て。を。餌。と。し。て。入。れ。我。子。の。罰。小。し。し。て。
 累。漢。と。小。ま。る。べ。い。く。も。捕。へ。の。う。ま。と。数。多。の。賜。物。と。忠。太。が。功。を。美。
 譽。し。人。丸。を。大。概。や。は。繁。き。世。を。世。小。披。露。し。て。幼。る。き。人。丸。を。日。々。尋。問。
 ろ。し。け。る。を。外。捕。下。囚。入。を。呵。嘖。ま。る。と。處。う。り。て。非。道。の。と。も。ま。る。と。け。る。
 世。頃。畠。山。重。忠。の。少。く。か。る。と。あ。ま。り。引。籠。て。居。り。し。が。梶。原。非。道。の。
 筆。勅。ま。と。傳。へ。せ。り。と。あ。ま。り。今。や。主。君。強。倉。敵。新。と。世。知。り。あ。ま。と。き。
 ろ。い。ま。ご。人。心。伏。さ。し。少。く。も。非。義。の。政。道。あ。ま。り。臣。惡。之。叛。ひ。く。
 世。の。乱。ま。ん。の。必。定。ん。我。少。の。病。死。り。て。事。を。梶。原。に。任。ま。す。の。是。忠。臣。に。あ。ま。
 と。く。こ。ま。り。日。毎。然。度。又。出。る。景。季。と。交代。辨。訟。を。使。囚。入。を。乳。と。今。日。

と。あ。ま。り。年。時。ま。り。梶。原。が。後。に。あ。ま。り。世。と。召。捕。へ。人。丸。是。近。下。司。に。
 命。じ。て。父。の。去。向。を。問。は。ま。り。と。泣。哀。し。く。ま。り。今。日。自。ら。同。人。に。
 威。儀。者。小。整。へ。と。人。丸。を。度。に。幸。出。さ。し。今。年。僅。く。七。才。の。侍。童。外。の。
 世。と。より。梶。原。は。父。母。を。慕。ひ。情。く。面。頰。頼。り。冬。野。小。残。り。聲。妻。乃。
 痛。み。等。し。凡。情。も。く。こ。ろ。も。情。の。光。景。さ。り。奈。何。と。猛。き。の。う。ま。り。と。こ。
 人。丸。が。捕。獲。し。て。人。丸。の。公。弱。ま。り。同。し。と。あ。ま。り。と。い。ふ。と。景。季。の。世。も。
 公。腹。せ。し。と。公。腹。を。強。眼。を。怒。ら。し。か。お。し。人。丸。兼。せ。汝。の。累。漢。が。女。兒。を。乳。
 父。が。去。向。を。知。り。傳。へ。人。丸。包。ま。ま。り。白。状。し。と。い。ふ。と。爾。ら。ば。命。の。助。く。へ。り。
 少。よ。て。の。傳。へ。バ。世。不。し。憐。れ。極。由。あり。そ。外。水。火。の。責。任。小。ま。り。呵。嘖。
 せ。ん。奈。何。と。同。く。ま。り。幼。る。き。父。の。あ。ま。り。甘。怒。怖。く。泣。く。て。回。答。を。
 ろ。く。の。う。り。何。と。も。の。父。を。さ。る。父。尚。妻。う。け。と。問。う。ふ。か。を。面。を。

ちやうど。残し。心け。人。や。破。り。と。より。憂。れ。由。母。上。と。よ。希。る。た。り。ば。
 何。の。成。る。と。ぞ。人。何。れ。の。地。方。お。つ。と。も。我。を。も。は。ひ。の。り。と。四。度。を。た。
 嘆。き。を。悼。す。死。無。時。京。季。何。古。屋。不。辨。ひ。汝。不。爾。不。ぶ。お。也。ひ。る。京。清。が
 玄。向。を。白。状。せ。よ。奉。刺。より。飛。る。幾。回。う。人。丸。お。回。ひ。は。し。も。を。云。不。明。白
 う。ら。も。汝。へ。よ。ぞ。知。け。ら。め。家。見。不。便。と。思。ふ。ら。夫。の。在。家。を。告。げ。よ。
 爾。と。い。は。ば。祝。子。と。救。ま。す。奈。何。と。同。め。し。ば。何。古。屋。へ。海。お。掛。ひ。奴。お。が
 夫。へ。去。年。の。春。清。お。み。と。別。れ。と。よ。り。音。向。た。も。る。き。と。お。奈。何。と。お。り。ひ
 娘。の。之。甲。變。る。き。女。の。身。お。あ。と。ば。尋。途。お。ま。よ。う。も。う。う。ち。お。る。内。お。ま。は。
 近。江。の。矢。海。川。お。く。不。圖。一。日。及。く。の。と。お。て。言。ひ。の。際。お。村。の。暗。お。終。り。て
 玄。方。と。思。ひ。刺。お。入。れ。ま。で。又。失。ひ。う。葉。神。吟。京。師。ま。で。う。め。れ。來。は。る。お。
 人。丸。を。捨。と。う。り。無。所。後。不。居。よ。と。お。し。と。ま。ま。ま。り。と。う。り。ぬ。爾。を。縁。取。お。

少。バ。夫。の。去。向。を。い。う。ぞ。う。知。し。ん。よ。う。や。知。り。く。あ。は。と。く。妻。と。い。ふ。夫。を
 所。人。を。る。女。の。あ。う。と。思。と。う。や。無。多。み。は。き。水。火。の。責。を。愛。を。足。と。も。成。ひ
 う。と。賞。悟。極。め。し。光。景。ハ。勃。と。を。う。り。け。り。け。り。小。児。お。り。と。思。て。こ。そ。う。と
 ち。く。怒。を。發。し。声。あ。ら。げ。く。り。け。り。け。り。小。児。お。り。と。思。て。こ。そ。う。と
 ち。く。道。理。を。述。ぶ。京。清。が。在。家。を。回。り。と。と。我。を。擧。げ。檀。お。再。生。三。口。を
 の。て。欺。く。こ。そ。い。と。く。惡。き。白。痴。よ。爾。陳。と。も。を。傳。お。や。う。白。状。を。付。せ。や。あ。る。
 中。お。と。者。お。何。古。屋。母。子。お。報。と。あ。て。よ。と。下。知。は。し。ば。乞。得。ぬ。と。奴。僕。と。何。口。を
 母。子。と。御。め。て。責。木。お。う。け。く。責。人。と。も。付。よ。紙。門。の。裡。り。して。や。の。の。い。ま。よ
 暫。時。待。た。し。よ。い。る。の。あ。る。ぞ。の。と。云。声。も。み。人。と。い。は。し。誰。お。う。と。觀。と。い。衣
 紋。正。し。と。重。忠。が。悠。々。と。て。出。ま。る。み。ぞ。人。と。こ。と。へ。と。悻。然。たり。重。忠。靜。か。み
 坐。し。就。て。梶。原。お。對。つ。て。れ。を。う。り。今。期。よ。り。さ。ぞ。お。景。と。う。り。人。今。日。ハ。や。う。か。く



景吉

九



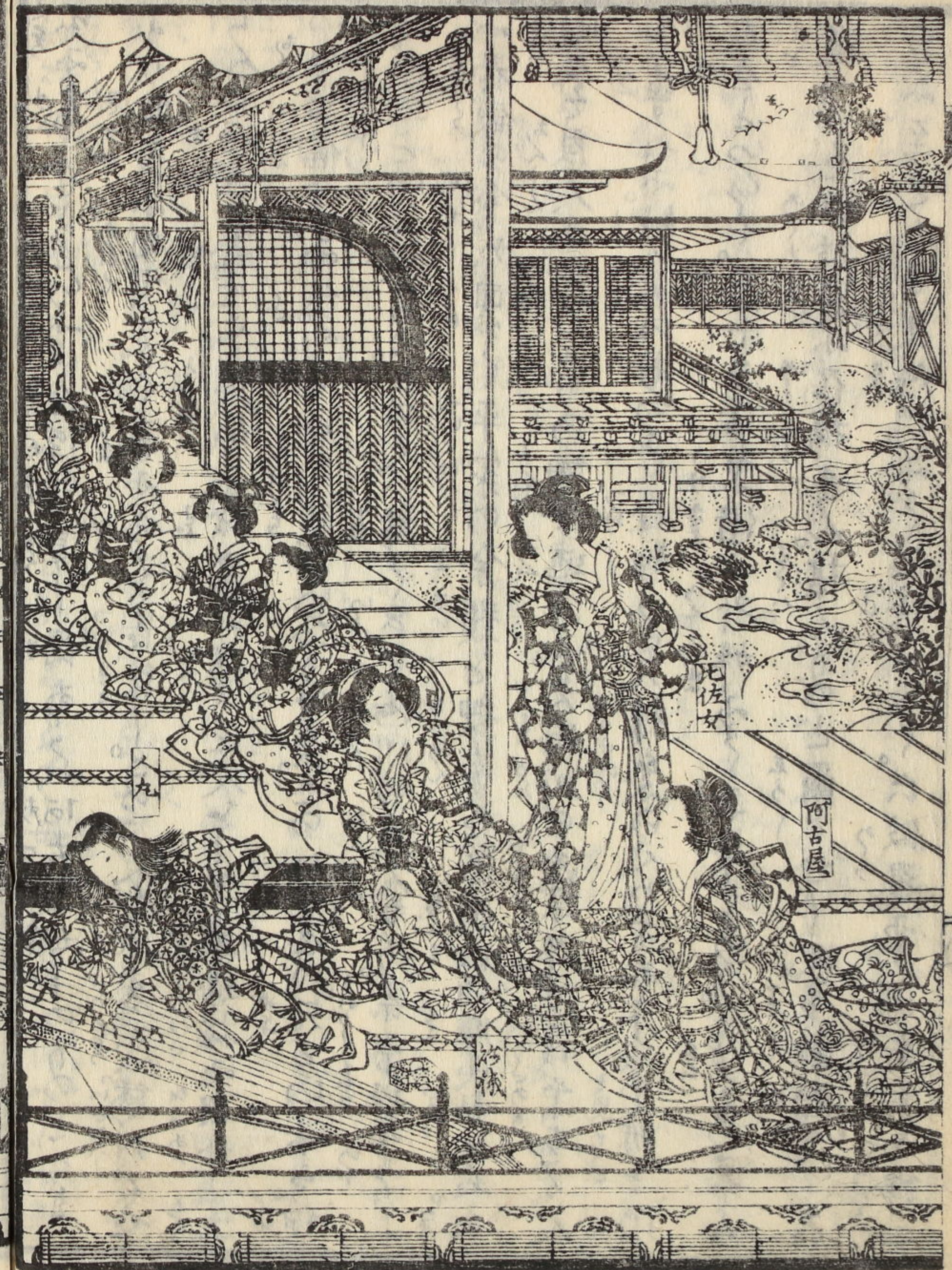
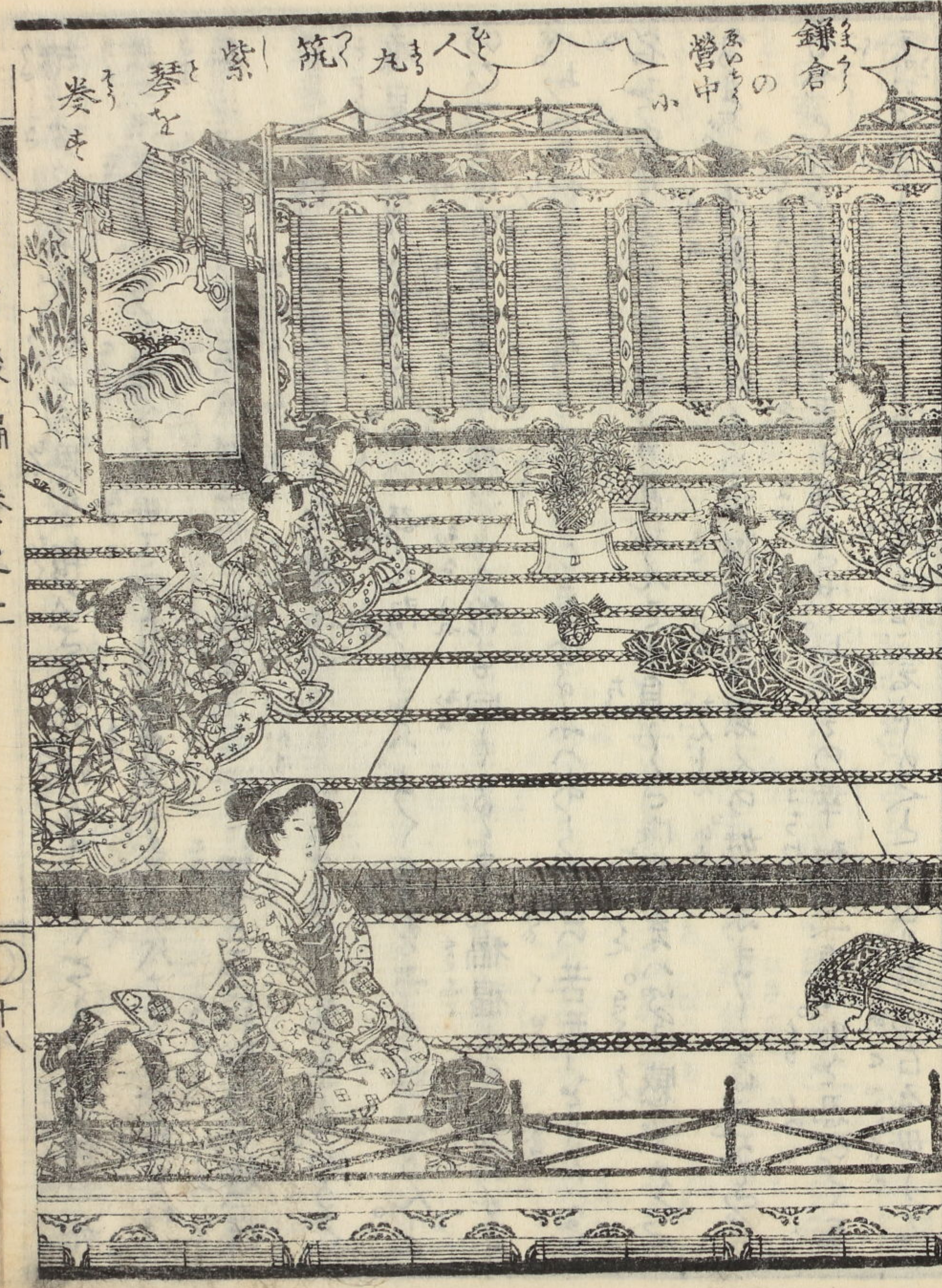
重忠三叔を論ぶ

人丸が呵責を

免くも

重忠

何古



結りゆく一ちく。ちて入恩を報ひては。はうましくも。優恤且姫
 君の仇新と。よく拵く。母子のいのちを。免う。と。後雨されば。
 新ふ事。一。恩。報ゆの一。端。う。と。いと細や。小説。論。せ。様
 ことと。熟く。丈夫の恩。系。を。稟。み。ける。そ。か。ん。づ。ぬ。の。く。も。だ。ら。う。く
 廉。畧。を。な。す。一。人。を。の。び。ん。限。り。と。ぶ。よ。く。も。あ。め。く。い。ひ。う。ん。と。
 しいつ。何。古。を。母。子。小。對。ひ。女。ハ。誰。も。同。一。る。も。く。福。福。と。も。夫。み。つ。る。
 ば。あ。ん。と。ち。り。身。と。あ。る。も。取。ら。し。め。う。み。あ。ら。せ。ど。只。苦。節。と。ま。も。い。る。と。
 名。と。え。さ。る。ぞ。負。婦。の。と。あ。ん。と。が。負。く。と。は。志。氣。ハ。い。づ。み。感。づ。え。る。
 名。は。あ。る。あ。る。一。つ。り。つ。み。夫。の。恩。人。の。妹。は。み。ま。す。ま。せ。づ。く。と。
 め。ん。く。る。困。る。く。姫。君。小。嘆。き。や。あ。ん。の。幸。が。い。づ。み。恥。と。忍。び。く。事。
 事。并。と。う。一。只。姫。君。の。仇。感。不。違。よ。を。念。と。め。ん。と。せ。ぬ。が。何。古。を。母。子。と。

存。び。く。ち。づ。情。と。伏。拜。之。感。謝。と。も。い。づ。く。と。様。二。人。を。誘。り。
 つ。は。不。と。う。一。と。ぞ。あ。り。ける。こ。も。大。姫。君。と。義。高。公。小。別。と。の。悲。し。の。
 余。り。去。年。よ。う。一。病。み。の。り。と。い。う。様。も。い。づ。く。を。終。り。召。は。せ。る。
 侍。女。あ。め。え。ん。と。せ。め。の。女。奴。の。入。り。は。父。母。の。恩。に。思。ひ。姫。君。の。仇。を。を。
 抱。み。給。へ。の。う。ん。と。ま。く。を。用。ひ。の。と。あ。ら。う。り。も。移。り。た。と。な。り。病。を。
 ち。ら。み。の。ち。の。ち。あ。み。給。ま。せ。ぬ。く。は。を。の。痛。す。一。の。雨。の。小。様。一。人。
 の。と。姫。君。の。仇。を。だ。ん。を。女。の。對。め。に。し。の。倍。だ。の。妻。が。い。づ。み。日。毎。は。な。み。
 年。の。ひ。の。い。づ。が。新。た。の。ち。あ。り。の。系。竹。の。伎。女。長。ら。の。め。を。召。ま。れ。ら。ん。
 一。と。あ。み。の。の。種。あ。め。く。は。り。ける。北。条。畠。山。本。が。許。み。系。竹。の。道。お。賢。い。
 の。い。づ。に。振。ひ。へ。ん。お。下。が。い。と。命。き。の。い。づ。が。重。忠。う。許。し。ら。う。と。
 系。竹。が。外。妻。ある。何。古。を。と。ら。み。を。捕。し。る。み。彼。ら。の。と。あ。み。あ。ら。う。と。名。を。

御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。

御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。
 御縁のふふ。何古と深き交りあり。彼が頼み語り。上と欺め。

あつものこゝろはしづかぬ。剛つらのめりあり。爾まのつ子こと側そば近ぢかく召よせんとあつらふこと。
よつとあつふ人丸ひとまると。結むす核こみこりこ。あつらふこと。あつらふこと。
ささく。武將ぶしょうの成なり春はる不ふ。是非しぜい得失とくしつと并ならぶ。あつらふこと。あつらふこと。
あつらふこと。あつらふこと。あつらふこと。あつらふこと。あつらふこと。あつらふこと。
亡な夫むのころはしづかぬ。剛つらのめりあり。

景清 外傳 松之楨後編卷之二 終

